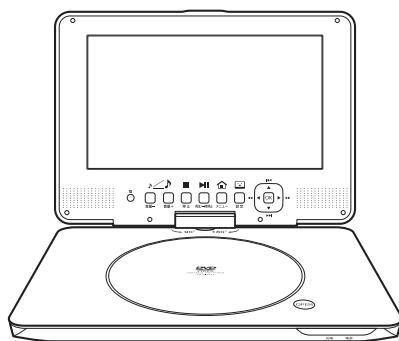


9型 ポータブルDVDプレーヤー

PDVD-9KSA 取扱説明書


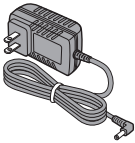
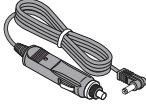
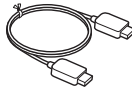

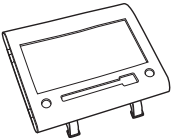
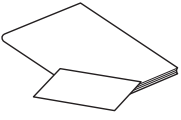


はじめにお読みください

このたびは当社の9型ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、内容を十分理解された上、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

付属品 以下の付属品がそろっているか確認してください。

			
リモコン 1個	ACアダプター 1個	カーアダプター 1個	HDMIケーブル 1本
			
AVケーブル 1本	車載用カバー 1個	取扱説明書(本書)・保証書 各1部	

ご使用の前に

準備する

基本の操作

便利な機能

設定を変える

その他

もくじ

ご使用の前に	3
安全上のご注意	3
ディスクについて	5
準備する	8
各部のなまえ	8
リモコンの準備	11
リモコンに電池を入れる	11
リモコンの使いかた	11
本体の準備	12
電源について	12
テレビや外部機器をつなぐ	15
画面の角度や方向を変える	16
車に取り付ける	16
基本の操作	17
電源を入/切する	17
ディスクを 挿入する/取り出す	17
DVDを再生する	17
早戻し・早送りする	18
再生を一時停止する	18
再生を停止する	18
前、または次の チャプターに移動する	19
音量を調節する	19
メニューを表示する	19
DVD・外部入力を切り換える	20
便利な機能	21
情報を表示する	21
音声を切り換える	21
字幕を切り換える	21
DVD再生中にできるその他の操作	22
スロー	22
リピート	22
ズーム	22
アングル	22
画面サイズを切り換える	23
液晶画面を消す	23
音楽CDを再生する	23

CD再生中の操作	24
リピート	24
音声を切り換える	24
ディスク情報を表示する	25
数字ボタンで 番号を選び再生する	25
USBメモリや データディスク内のファイルを再生する	27
USBメモリを挿入する	27
USBメモリを取り出す	27
MP3/WMA・JPEGファイルを再生する	29
設定を変える	31
設定メニューを開く・操作する	31
メニュー画面の見かた	31
設定メニューを開く	32
操作・設定のしかた	32
一般設定	33
音声設定	34
デジタル設定	34
映像設定	35
選択設定	37
その他	39
困ったときは	39
免責事項	41
おもな仕様	42
アフターサービス	44



ご使用の前に

安全上のご注意




ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について











この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。







絵表示の例

	注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。		行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
---	------------------------------	---	---------------------	---	-------------------------









警告

	煙が出ている、異臭や異音があるなどの異常状態のまま使用しない 火災・感電の原因となります。このようなときはすぐに電源を切り、その後必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。		表示された電源電圧、交流 100V 以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因になります。
	機器を改造しない 火災・感電の原因になります。		ACアダプターのコードを傷つけたり、破損させない。また、重いものに乗せたり、加熱したり、引っ張ったりしない コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない 火災・感電の原因になります。		ACアダプターのコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）使用しない そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
	お客様自身による修理・改造はしない 感電の原因になります。内部の点検・修理は販売店または弊社にご依頼ください。		ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	ACアダプターを抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。		万一、機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く

⚠ 警告 (つづき)

 禁止	<p>この機器の開口部（ディスクプレーヤー部など）から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしない</p> <p>火災・感電の原因になります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。</p>	 水ぬれ禁止	<p>風呂場では使用しない</p> <p>水などをかけないでください。火災・感電の原因になります。</p>
 ACアダプターを抜く	<p>万一、異物が機器内部に入った場合は、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店にご連絡ください。</p>	 水ぬれ禁止	<p>機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない</p> <p>こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になります。</p>
 水ぬれ禁止	<p>水が入る、ぬれるような場所では使用しない</p> <p>火災・感電の原因になります。海岸、水辺では使用しないでください。</p>	 ACアダプターを抜く	<p>万一、内部に水などが入った場合は電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店にご連絡ください。</p>

⚠ 注意

 ACアダプターを抜く	<p>お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いておこなう</p> <p>長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜く</p> <p>移動させる場合は、安全のため電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いておこなう</p> <p>ACアダプターのコードが傷つき、火災・感電の原因になります。</p>	 禁止	<p>夏期の直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になるところに放置しない</p> <p>機器に障害を与え、火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>ACアダプターを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らない</p> <p>感電の原因になります。</p>	 禁止	<p>次のような使い方はしない</p> <p>火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
 禁止	<p>ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>	 設置注意	<p>キャビネットなど閉めきったところに入れて使うときは、換気のため本機の周り約3cm以上空ける</p>
 禁止	<p>ACアダプターのコードを熱器具に近づけない</p> <p>コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。</p>	 禁止	<p>湿気やほこりの多い場所に置かない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>機器に乗らない</p> <p>倒れたり、こわれたりしてけがの原因になります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。</p>	 禁止	<p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>本体を落としたり、振動を与えない</p> <p>故障・火災・感電の原因になります。</p>	 禁止	<p>ひび・そり・ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しない</p> <p>故障の原因になります。</p>

ディスクについて

再生できるディスクの種類

本機は以下のディスクをアダプター無しで再生できます。

	ロゴマーク	ディスクサイズ	内容
DVDビデオ		12cm	●映像+音声
			●映像+音声 (VIDEOモード/VRモード対応) ※ファイナライズ処理をおこなわないと再生できません。
音楽用CD		12cm	●音声
CD-R/RW		12cm	●音声 (CD-DA) ※ファイナライズ処理をおこなわないと再生できません。 ●音声 (MP3/WMA) ●静止画 (JPEG)

※DVD-R・DVD-RWはDVDディスクの品質、レコーディング機器の品質により、再生できない場合があります。

本機で再生できないディスク

DVD-ROM・DVD-RAM・DVD-Audioは再生できません。

コピーコントロールCD

本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

本機で再生できる

DVDのリージョンコード(地域番号)

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとにリージョンコード(地域番号)が決められています。

本機はリージョンコード“2”(または“2”を含むもの)、または“ALL”と記載されたディスクの再生ができます。

JPEGの再生

JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機ではCD-R・CD-RW・CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます。

※記録方式によっては再生できない場合があります。

※ISO9660レベル1・レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。

ディスク構成について

DVDディスクは通常“タイトル”で分けられ、さらにタイトルを“チャプター”で分けています。また、CDの場合は“トラック”で分けています。



タイトルやチャプター、トラックには順に番号がつけられています。これらの番号を“タイトル番号”、“チャプター番号”、“トラック番号”と呼びます。




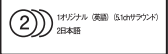
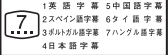






※DVDによっては番号が記録されていないものがあります。

ディスクについて (つづき)

1 使用前に

DVD に表示されているマークについて

DVD や CD のディスクやパッケージには以下のようなマーク（記号）が表示されており、そのディスクに記録されている映像や音声のタイプ・機能をあらわしています。

ロゴマーク	内容
	そのディスクに記録されている総時間 ※APPROX. は「概略」の意味です。
	ディスクの種類と映像の記録方式
	カラー映像
	音声言語の数および種類
	字幕言語の数および種類
	画面のアスペクト比
	リージョンコード（番号）、記録されている映像のテレビジョン方式、対応している地域
	マルチアングル対応 ※複数台のカメラで撮影された映像が含まれるソフトで、アングルを変えて見ることができます。中の数字はアングル数をあらわしています。
	DVD の標準音声タイプ ※モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、5.1ch でサラウンドで記録されているものもあります。ドルビーデジタル (5.1ch サラウンド) で記録されているソフトでは、それぞれ 5 つのチャンネルごとに音声記録されており、サブウーファーから出力される低音も記録されています。
	音声の記録方式と種類
	このディスクが許諾されている著作権の範囲 ※なお「複製不能」と書かれている場合、何らかのコピープロテクション技術が使われていることを意味します。

ディスクについて(つづき)

1 使用する前に

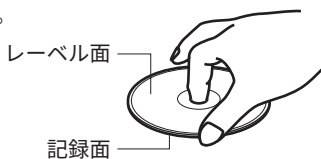
ディスクの保管

- 下記のような場所には保管しないでください。ディスクが使えなくなることがあります。
 - ・ 直射日光が当たる場所
 - ・ 湿気や埃のある場所
 - ・ ヒーターの近くなど熱気や熱風のあたる場所、温度や湿度の高い所
- 使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

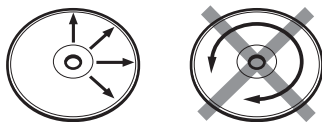


ディスク取り扱い上のご注意

- 記録面に触れないように持ってください。

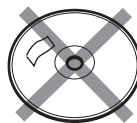


- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。

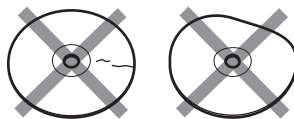


ディスク使用上のご注意

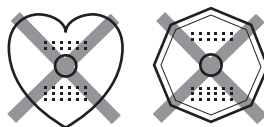
- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですので絶対に使用しないでください。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



- ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。



- ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。



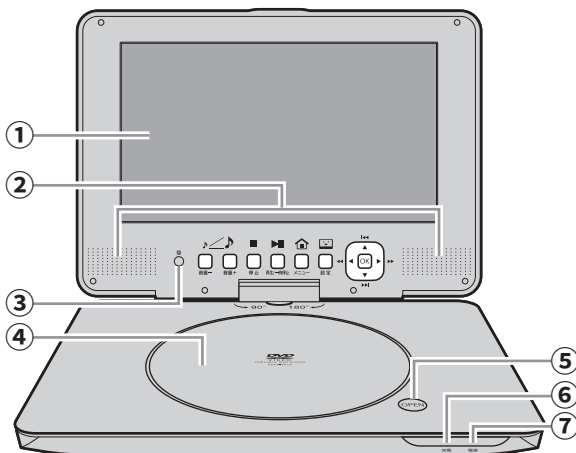
温度の変化により水滴が付いたとき

使う前に、やわらかい布などで、必ず放射状に軽くふき取ってください。水分が完全に乾いてからお使いください。

準備する

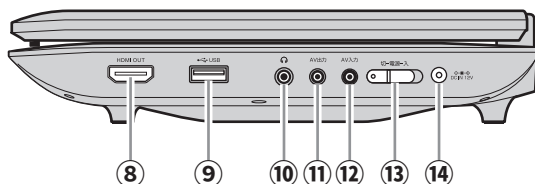
各部のなまえ

準備する



- ① 液晶画面**
画面を直立させた状態で時計方向に180°、反時計方向に90°回転させることができます。
- ② スピーカー**
- ③ リモコン受光部**
リモコンの操作はこの部分に向けておこなってください。
- ④ ディスクカバー**
- ⑤ オープン
(ディスクカバー開く)ボタン**
ディスクカバーを開きます。
- ⑥ 充電ランプ**
- ⑦ 電源ランプ**

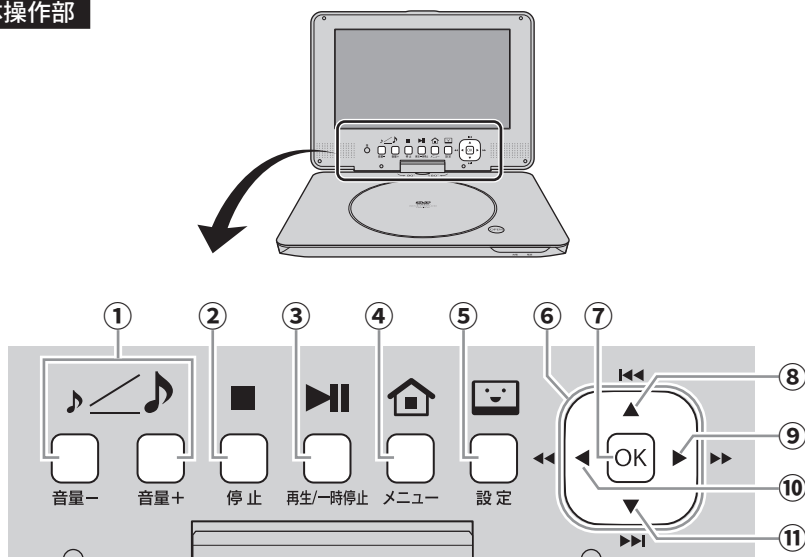
右側面



- ⑧ HDMI 出力端子**
HDMI機器への出力端子です。
- ⑨ USB 端子**
USBメモリを挿入します。
- ⑩ イヤホン端子**
イヤホンを接続します。
- ⑪ AV 出力端子**
外部機器への出力端子です。
- ⑫ AV 入力端子**
外部機器からの入力端子です。
- ⑬ 電源スイッチ**
本機の電源を入/切します。
- ⑭ DC IN 12V 端子**
ACアダプターを接続します。

各部のなまえ (つづき)

本体操作部



準備する

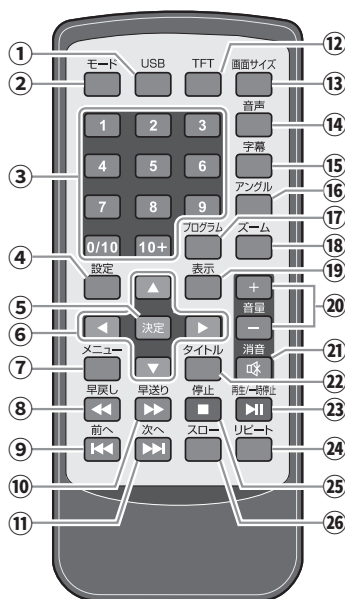
- ① **音量+ / -**
DVDプレーヤーの音量を調節します。
- ② **停止**
再生中に押すと、再生された位置で停止します。
もう一度押すと、完全に停止します。
- ③ **再生 / 一時停止**
再生中に押すと、その場で一時停止します。
停止または一時停止中に押すと、再生を開始します。
- ④ **メニュー**
DVDビデオのメニュー画面を表示します。
- ⑤ **設定**
本機の設定画面を開きます。
- ⑥ **方向 (▲/▼/◀/▶)**
DVDメニュー、設定画面などでカーソル(選択部分)を移動します。
- ⑦ **OK (決定)**
DVDメニュー、設定画面などで、選択されている部分を確定します。
- ⑧ **⏮ (前へ)**
再生中のひとつ前のチャプターを再生します。
- ⑨ **⏭ (早送り)**
再生中に押すと、早送りします。
- ⑩ **⏮ (早戻し)**
再生中に押すと、早戻しします。
- ⑪ **⏭ (次へ)**
再生中のひとつ後のチャプターを再生します。

各部のなまえ (つづき)

リモコン

準備する

- ① **USB**
USBメモリに切り換えます。
- ② **モード**
動作モード(DVD/外部入力)を切り換えます。
- ③ **数字ボタン**
数字を入力します。
- ④ **設定**
設定画面を開きます。
- ⑤ **決定**
DVDメニュー、設定画面などで、選択部分を確定します。
- ⑥ **方向 (▲/▼/◀/▶)**
DVDメニュー、設定画面などで、カーソル(選択部分)を移動します。
- ⑦ **メニュー**
DVDビデオのメニュー画面を表示します。
- ⑧ **早戻し**
再生中に押すと、早戻しします。
- ⑨ **前へ**
再生中のひとつ前のチャプターを再生します。
- ⑩ **早送り**
再生中に押すと、早送りします。
- ⑪ **次へ**
再生中のひとつ後のチャプターを再生します。



- ⑫ **TFT**
液晶画面の表示/非表示を切り換えます。
- ⑬ **画面サイズ**
画面のアスペクト比(横縦比)を切り換えます。
- ⑭ **音声**
音声の切り換えをおこないます。
- ⑮ **字幕**
複数言語の字幕が記録されたDVD再生中に押すと、字幕の切り換えをおこないます。
- ⑯ **アングル**
アングルの切り換えをおこないます。
- ⑰ **プログラム**
プログラム設定画面を表示します。
- ⑱ **表示**
再生位置、チャプター経過時間などを画面に表示します。
- ⑲ **ズーム**
画面の一部を拡大・縮小表示します。
- ⑳ **音量+/-**
音量を調節します。
- ㉑ **消音**
音声を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。
- ㉒ **タイトル**
DVDビデオの場合、タイトルメニューに戻ります。
- ㉓ **再生/一時停止**
再生中に押すと、その場で一時停止します。停止または一時停止中に押すと、再生を開始します。
- ㉔ **リピート**
再生中のチャプター、タイトル、ディスク全体を繰り返し再生します。
- ㉕ **停止**
再生中に押すと、再生された位置で停止します。もう一度押すと、完全に停止します。
- ㉖ **スロー**
再生中に押すと、スロー再生をおこないます。

リモコンの準備

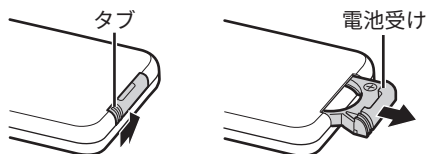
リモコンに電池を入れる

- リモコンにはあらかじめ電池が入っています。ご使用前に絶縁フィルムを引き抜いてください。



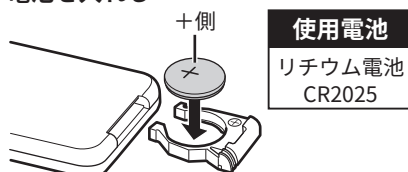
■ 電池交換のしかた

1 電池ホルダーを引き出す



タブを内側に押さえながらくぼみにツメを引っ掛けて引き抜きます。

2 電池を入れる



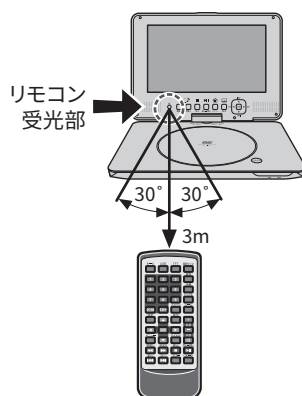
古い電池を取り出し、新しい電池を+（プラス）側を上にして電池ホルダーに入れます。

3 電池ホルダーを差し込む

リモコン本体に電池ホルダーを元通りに差し込みます。

リモコンの使いかた

- リモコンは本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの受光範囲は受光部より約3m以内、角度は上下左右30度以内です。



準備する

⚠ 注意

電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の原因になります。以下の点にご注意ください。

- 長時間ご使用にならない場合は、電池を本体から取り出しておいてください。
- 電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。
- コイン型電池は幼児の手の届く場所に置かないでください。お子様がコイン型電池を飲み込んだ場合、中毒の原因になります。もし飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

本体の準備

電源について

本製品は、ご家庭の AC100V 電源、自動車用電源 (DC12V)、内蔵充電式バッテリーパックで使える「3 電源方式」です。

準備する

AC アダプターで使う (家庭用 AC100V 電源)

⚠ 注意

AC アダプターの誤った使いかたは、火災や感電、故障の原因になります。以下の点にご注意ください。

- 同梱の AC アダプター以外のものを使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- AC アダプターは AC100V 50/60Hz のコンセントに接続してください。
- AC アダプターを接続するときは、本機の電源を切ってください。
- ご使用にならない場合は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

1 本体の電源スイッチを切る

電源が切れます。

2 AC アダプタープラグを本体に接続する

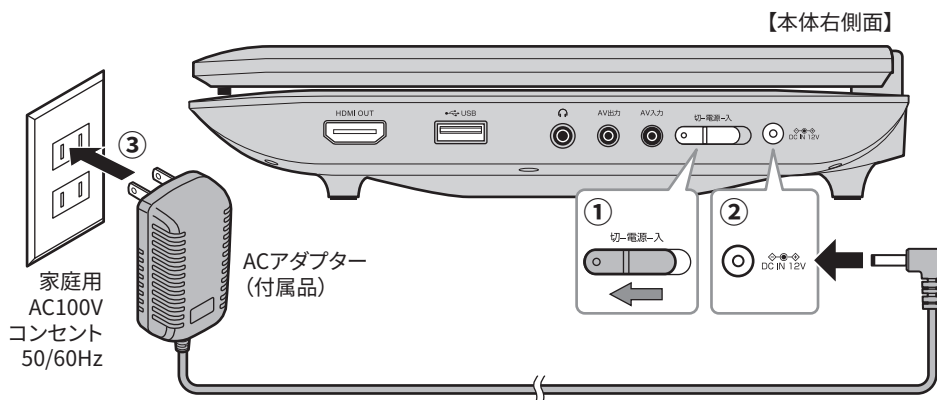
AC アダプターのプラグを本体右側面の DC IN 12V 端子に接続します。

3 AC アダプターをコンセントに接続する

AC アダプターをコンセント (AC100V) に接続します。

※ 電源周波数は 50Hz または 60Hz のどちらの地域でもそのままご使用できます。

※ 使わないときは、コンセントから AC アダプターを抜いてください。



本体の準備 (つづき)

カーアダプターで使う (自動車用 DC12V 電源)

⚠ 注意

カーアダプターの誤った使いかたは、火災や感電、故障の原因になります。以下の点にご注意ください。

- 同梱のカーアダプター以外のものを使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- カーアダプターは必ず DC12V の電源に接続し、DC24V の電源には絶対に接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- カーアダプターを接続するときは、本機の電源を切ってください。
- ご使用にならない場合は、カーアダプターをシガーライターから抜いてください。

車で使用するときのご注意

- 車で使うときは仮固定してください。仮固定せずに使うと急ブレーキなどで本機が移動し、けがや運転の妨げになり危険です。
- 本製品を車に恒久的に取り付けしないでください。また、運転の妨げとなる場所、エアバッグが作動するときの妨げとなる場所に置かないでください。事故やけがの原因となります。
- 運転する人は運転中に画面を見たり、操作をしないでください。事故の原因となります。

準備する

1 本体の電源スイッチを切る

電源が切れます。

2 カーアダプタープラグを本体に接続する

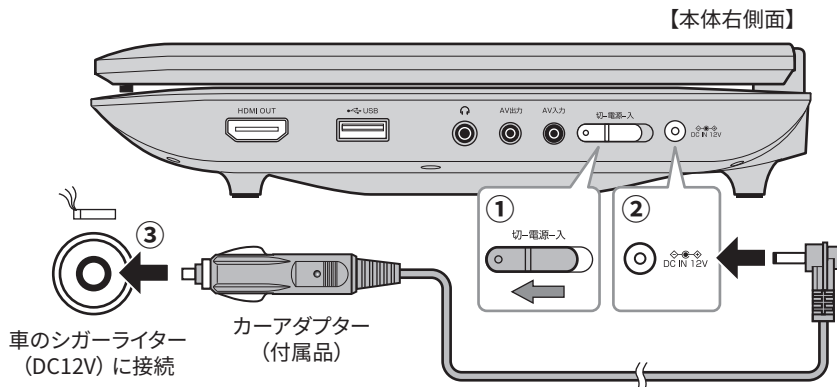
カーアダプターのプラグを本体右側面の DC IN 12V 端子に接続します。

3 カーアダプターを車のシガーライターに接続する

カーアダプターをシガーライター (DC12V) に接続します。

※ 使わないときは、シガーライターからカーアダプターを抜いてください。

※ 車種によっては DC12V のシガーライターでない場合がありますので、接続前に必ずご確認ください。



本体の準備 (つづき)

内蔵バッテリーに充電して使う

⚠ 注意

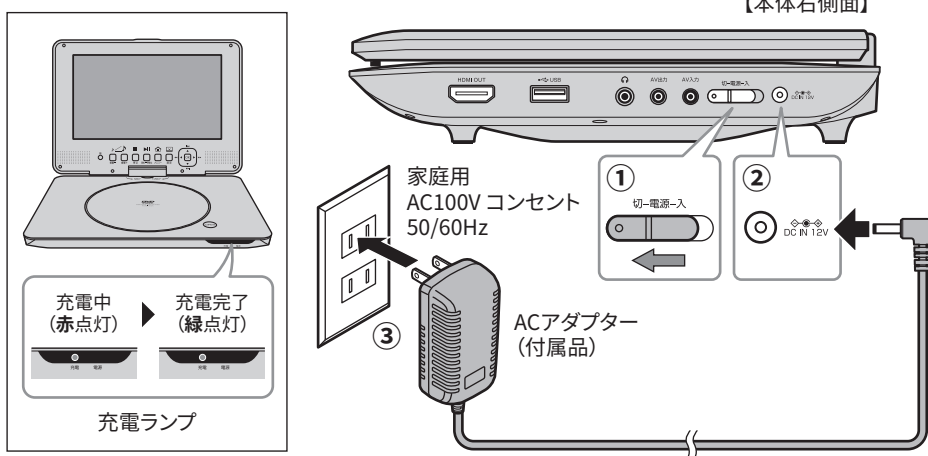
内蔵充電電池および AC アダプターの誤った使いかたは、火災や感電、故障の原因になります。以下の点にご注意ください。

- 同梱の AC アダプター以外のものを使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- AC アダプターは AC100V 50/60Hz のコンセントに接続してください。
- AC アダプターを接続するときは、本機の電源を切ってください。
- ご使用にならない場合は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- 充電が完了したら、速やかに AC アダプターをコンセントから抜いてください。
(充電が完了すると、充電ランプが赤点灯→緑点灯に変わります。)

準備する


1 「AC アダプターで使う (家庭用 AC100V 電源)」(⇒ 12 ページ) の手順で AC アダプターを接続する

充電が開始され、充電ランプが赤点灯します。



2 充電が完了すると、充電ランプが緑点灯に変わる

AC アダプターを抜いてください。

- 充電時間は、電源を切った状態で約 5 時間です。満充電の状態での使用時間の目安は、DVD 連続再生で約 3 時間です。
- 電池の充電量が少なくなると画面に “” が点灯表示されます。

※ AC アダプターを使わないときは、電源コンセントから AC アダプターを抜いてください。



本体の準備 (つづき)

テレビや外部機器をつなぐ

- 機器を接続するときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
- 付属の HDMI ケーブルと AV ケーブルを一緒に接続しないでください。音声や映像が正常に出力されない場合があります。
- 接続する機器によっては正常に動作しない場合があります。

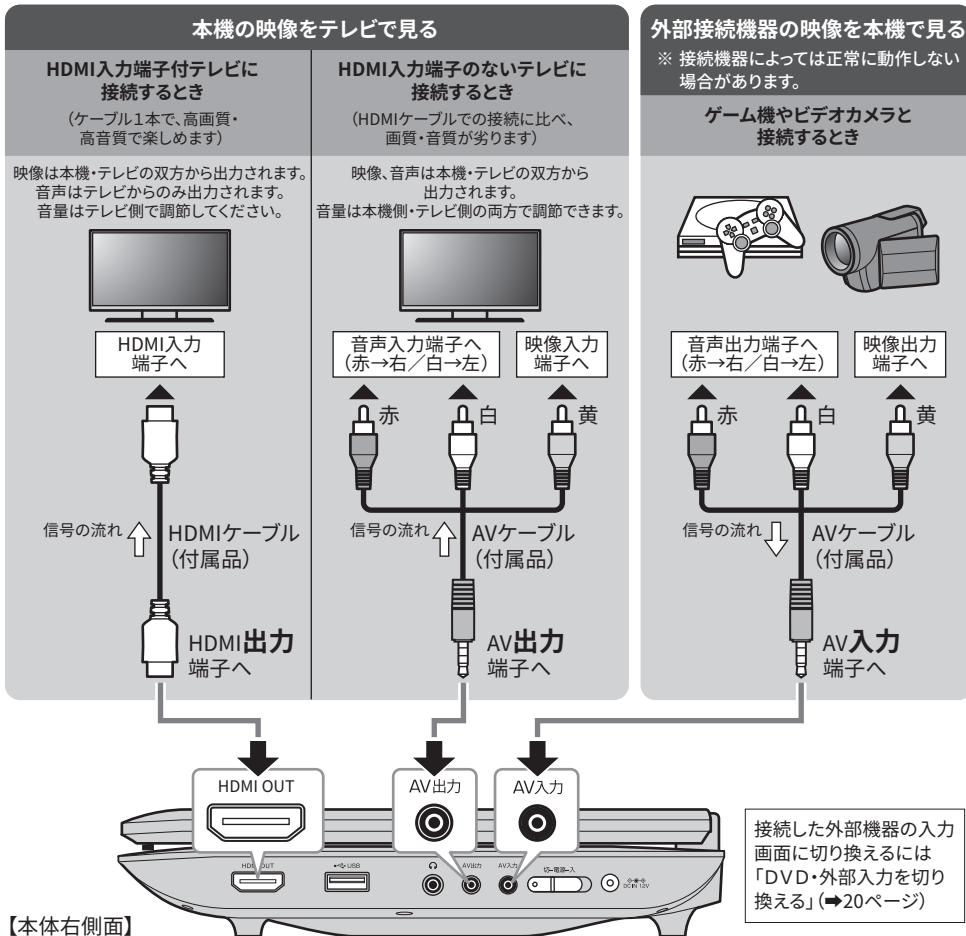
※ AV ケーブルでテレビと接続している場合、音量調節をおこなう際は本機の音量も調節してください。本機の音量が小さかったり消音になっていると、テレビからの音が小さかったり、出なかったりします。

※ AV ケーブルは必ず付属のものをご使用ください。4 極のミニプラグ (映像 / 音楽) はメーカーにより配線仕様が異なるため、他社のケーブルを接続した場合、映らないことがあります。

※ 接続する際は、各端子の奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと画面に映らない、音声が聞こえないなどの場合があります。

※ テレビや外部機器の接続の詳細については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

準備する



本体の準備 (つづき)

画面の角度や方向を変える

本機は液晶画面を見やすい角度や方向に調節することができます。

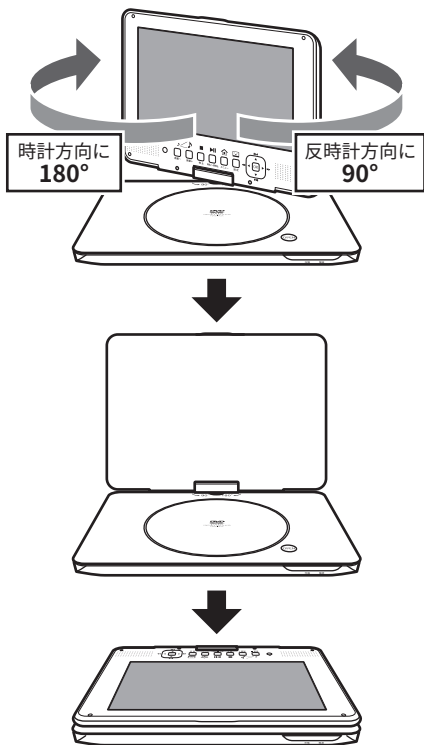
液晶画面をまっすぐに起こした状態にし、プレイヤー部をしっかりと押さえながら角度を調節します。

(時計方向に 180°、反時計方向に 90°まで)

※液晶画面を押さないでください。

※調節範囲以上に回さないでください。故障の原因になります。

基本の操作



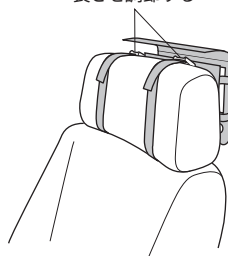
車載用として使うときなどは、図のように時計方向に 180°回転させたあと、液晶画面を倒します。

車に取り付ける

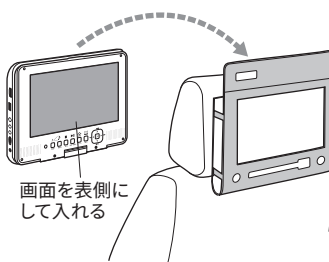
付属の車載用カバーを使って車に取り付けることができます。

1 車載用カバーをヘッドレストに図の向きで取り付け、ベルトでしっかりと固定する

長さを調節する

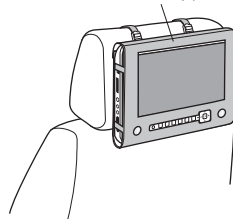


2 液晶画面が表になるように画面の向きを変え、カバーに入れる



3 上カバーをしっかりと留める

上カバーを留める



※必要に応じてカーアダプターを接続してください。

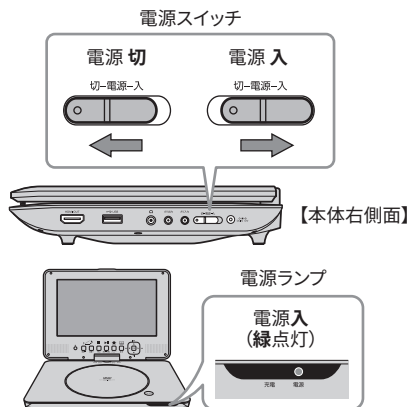
※操作はリモコンで行ってください。

※リモコンは受光部に向けて操作してください。

基本の操作

電源を入／切する

電源が入ると、本体正面下部の電源ランプが点灯し、画面が表示されます。

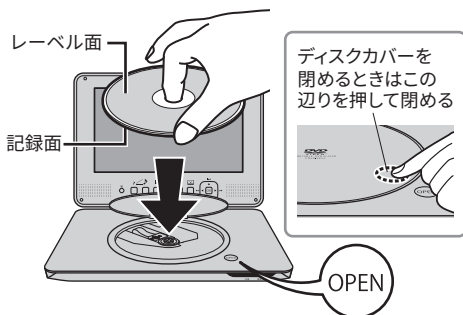


- ※ トップ画面が表示されるまでに数秒かかります。
- ※ 使わないときは電源をお切りください。

ディスクを挿入する／取り出す

OPEN を押す

ディスクは下図の向きでトレイのくぼみに合うようにセットしてください。



DVDを再生する

再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(➡5ページ)をご覧ください。

1 **OPEN** を押してディスクカバーを開き、ディスクをセットする


2 ディスクカバーを閉める

3 本機の電源を入れる

ディスクの読み込みが始まります。読み込みが完了すると、自動的に再生が始まります。

- ※ 再生が始まらない場合は、【再生／一時停止】を押してください。
- ※ ディスクによってはメニュー画面が表示されます。【▲▼◀▶】で項目を選び、【決定】を押してください。

メモ

- ボタン操作で無効な操作をすると、画面左上に  が表示されます。



早戻し・早送りする

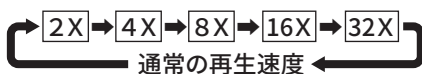
(再生中または一時停止中に)

 または  ボタンを押す

早送り、または早戻し再生が始まります。
画面には速度が表示されます。



ボタンを押すたび次のように変わります。



※早送り・早戻し中は、音声が出ません。

基本
の
操
作

再生を一時停止する

(再生中に)  を押す



もう一度押すと再生を再開します。

※本体の操作ボタンでも同様に操作できます。

再生を停止する

(再生中に)  を1度押す

再生が停止され、表示が出ます。



もう一度押すと、再生が完全に停止します。



※本体の操作ボタンでも同様に操作できます。

ポイント

再生を止めたところからふたたび再生する (ラストメモリー機能)

本機は再生中に【停止】を一度押すと、再生が停止されます。

画面に「再生ボタンを押して継続」と表示されます。

この状態で電源を切ると、次回電源を入れたとき、止めたところからふたたび再生が始まります。

- 再生の始まり (位置) は、若干ずれることがあります。
- 【停止】を2回押すと、ラストメモリーは消去されます。
- ラストメモリー機能を無効にするときは (➡ 33 ページ)

前、または次の チャプターに移動する

(再生中または一時停止中に)

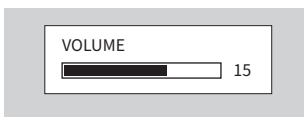
前へ または 次へ を押す



前、または次のチャプターに移動して再生を始めます。

音量を調節する

+ または - を押す



+ を押すと音が大きくなり、- を

押すと小さくなります。
音量レベルは0 (最小) ~ 25 (最大) です。

※本体の操作ボタンでも同様に操作できます。

消音

消音 を押す

一時的に音を消します。
もう一度押すと元の音量に戻ります。
消音中は画面に表示が出ます。



※HDMI 接続時の消音はテレビ側で操作してください。

メニューを表示する

DVD によっては再生がはじまらずに、メニュー画面が表示されることがあります。

メニュー を押す

メニュー画面が表示されます。



※図は一例です。ソフトにより、表示内容は異なります。

基本の操作

メニューを操作するには

1 ◀ ▶ ▲ ▼ でメニューを選択する

2 決定 を押す

- さらにメニュー項目があるときは、1と2の操作を繰り返します。
- を押すと「タイトルメニュー」が表示されます。

※ディスクによっては、この機能は使えません。

DVD・外部入力を切り換える

本機では DVD と接続した外部入力機器からの入力画面を切り換えて表示できます。

モード
 を押す

ボタンを押すたび交互に切り換わります。

※ディスクの読み込み等で切り換えに時間がかかる場合があります。

 DVD映像
(USBメモリ/データディスク)



 AV IN 外部接続機器からの入力



基本の操作

● ディスクトレイにメディアが入っていないときに「DVD」に切り換えた場合は、以下の動作となります。

- ・ 「ディスクがありません」と表示されます。
- ・ USBメモリが挿入されている場合はフォルダー/ファイル選択画面 (➡ 29 ページ) が表示されます。

※外部入力機器の接続のしかたについては「テレビや外部機器をつなぐ」(➡ 15 ページ) をご覧ください。

※AV IN (外部機器入力) に切り換えた際、外部機器からの入力信号がない場合 (外部機器の電源が入っていない等) は、青い画面に「NO SYNC」と表示されます。

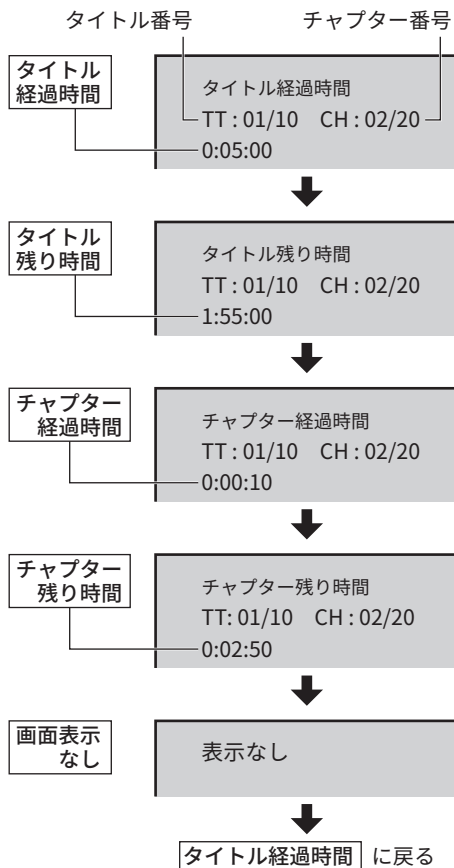
便利な機能

情報を表示する

再生中のディスクの情報を画面に表示できます。

(再生中に)  を押す

ボタンを押すたび、画面が次のように切り換わります。



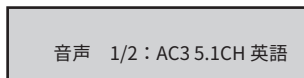
音声を切り換える

複数の音声記録された DVD ビデオを再生する場合に、音声を選択できます。

再生中に  を押す

ボタンを押すたび、音声を切り換えることができます。

画面には音声の番号・種類・音声言語が表示されます。



※複数の音声データが記録された DVD ビデオを再生する際にお使いいただける機能です。

なお、音声の種類および数はソフトにより異なります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

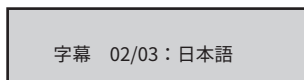
字幕を切り換える

複数言語の字幕が記録された DVD ビデオを再生する場合に、字幕言語を選択できます。

再生中に  を押す

ボタンを押すたび、字幕を切り換えることができます。

画面には字幕の番号・字幕言語が表示されます。



※複数の字幕データが記録された DVD ビデオを再生する際にお使いいただける機能です。


なお、字幕の種類および数はソフトにより異なります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

DVD再生中にできるその他の操作

スロー

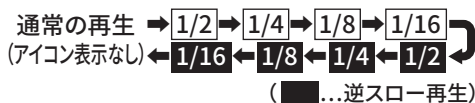
(再生中または一時停止中に)

スロー
 を押す


スロー再生が始まります。
 画面には速度が表示されます。



ボタンを押すたび次のようになります。



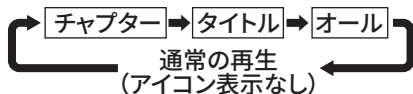
※スロー再生中は、音声が出ません。

再生/一時停止
 を押すと通常の再生に戻ります。

リピート

リピート
 を押す

ボタンを押すたび、以下のリピートモードに切り換わります。



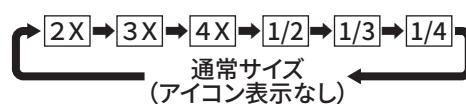
チャプター	選択した“チャプター”がリピート再生されます。
タイトル	選択した“タイトル”がリピート再生されます。
オール	ディスク内のすべてがリピート再生されます。

※ディスクによっては、この機能は使えません。

ズーム

再生中に ^{ズーム}
 を押す

画面には倍率が表示されます。
 ボタンを押すたびに倍率が次のように切り換わります。



- 拡大表示中は  を押すと、画像を移動することができます。

アングル

異なるアングルが記録された DVD を再生する場合に、同じシーンを異なるアングルから見ることができます。

再生中に ^{アングル}
 を押す

ボタンを押すたび、異なるアングルに切り換わります。





※複数アングルの映像が記録された DVD ビデオを再生する際にお使いいただける機能です。アングル対応かどうかは DVD ディスクのケースやジャケットでご確認ください。

便利な機能


画面サイズを切り換える

画面のアスペクト比を切り換えます。

1  を押す
右上に現在の比率が表示されます。

2 比率が表示されている状態で、
もう一度  を押す

以下のように切り換わります。

 **16:9** ← → **4:3**
(ワイド画面サイズ) (従来のテレビ画面サイズ)

液晶画面を消す

CD再生時やテレビ画面への出力時などに、
本機の液晶画面表示を消すことができます。

TFT
 を押す

ボタンを押すたび液晶画面の表示、非表示
が切り換わります。

✔ポイント

スクリーンセーバーについて

モニターの画面焼けを防ぐため、停止
状態のまま約4分経過すると、スクリー
ンセーバー画面に切り換わります。



いずれかのリモコンボタンを押すと、
スクリーンセーバーが消え、元の画面
に戻ります。

- スクリーンセーバーを無効にする
ときは (➡ 33 ページ)

音楽CDを再生する

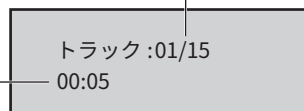
ディスクセットの方法はDVDの場合と同様
です (➡ 17 ページ)。

読み込みが完了すると、自動的に再生が始
まります。

画面には情報が表示されます。

トラック(曲)番号/総トラック(曲)数

経過時間



再生できるディスクについては「再生でき
るディスクの種類」(➡ 5 ページ) をご覧く
ださい。

便利な機能

CD再生中の操作

CD再生時は以下のリモコン操作がおこなえます。

CD再生中の操作

再生に関する操作

- 曲を選んで再生 (→25ページ)
- プログラム再生 (→26ページ)

音声を切り換える (→右記参照)

ディスク情報を表示する (→次ページ)

音量の調節

消音

再生に関する操作

- 再生/一時停止
- 停止
- 早送り, 早戻し
- 前へ(前の曲へ), 次へ(次の曲へ)

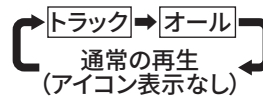
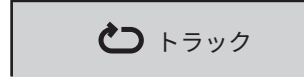
リピート (→右記参照)

リピート

リピート

を押す

ボタンを押すたび、以下のリピートモードに切り換わります。



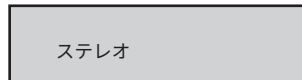
トラック	選択した“トラック(曲)”がリピート再生されます。
オール	ディスク内のすべての曲がリピート再生されます。

音声を切り換える

音声

を押す

ボタンを押すたび、以下の音声モードに切り換わります。



ステレオ	通常のステレオ
モノラル左	左側の音だけが両側のスピーカーから出る
モノラル右	右側の音だけが両側のスピーカーから出る
ミックスモノラル	左右混合のモノラル

便利な機能

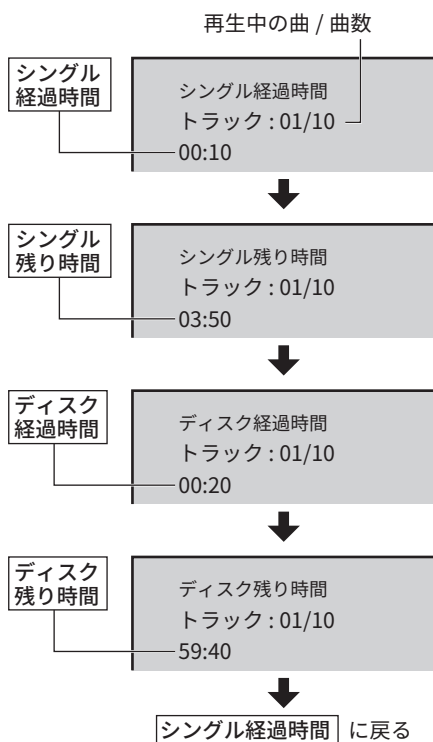
CD再生中の操作 (つづき)

ディスク情報を表示する

再生中のディスクの情報を画面に表示します。

(再生中に) 表示 を押す

ボタンを押すたび、画面が次のように切り換わります。



数字ボタンで 番号を選び再生する

DVD のチャプター番号 (CD の場合はトラック番号) を指定して再生することができます。

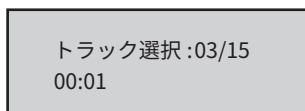
※チャプターがひとつしかない場合など、ディスクによってはこの機能は使えません。

※無効な数字は入力できません。

再生中に操作するとき

再生したい番号の数字ボタン

(1 ~ 0/10、10+) を押す



指定したシーン (トラック) からの再生がはじまります。
例)

「8」のとき	8 を押す
「10」のとき	0/10 を押す
「32」のとき	10+ を 3 回押し、次に 2 を押す

便利な機能

MP3/WMA、JPEG ファイルの場合

MP3/WMA ファイル、JPEG ファイルの場合はファイル番号 * を指定して再生できます。

* そのフォルダ内でのファイル番号となります。

●ファイル番号が 1～9 のとき

1 ~ 9 を押す

●ファイル番号が 10 以上のとき

大きい桁の数字から順に押す

例)

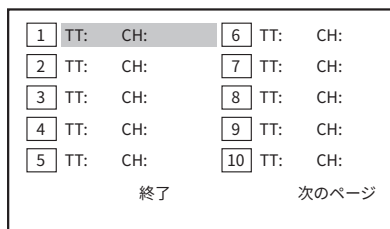
「8」のとき	8 を押す
「10」のとき	1 を押し、 0/10 を押す
「106」のとき	1 ・ 0/10 ・ 6 の順に押す

数字ボタンで番号を選び再生する(つづき)

プログラム再生

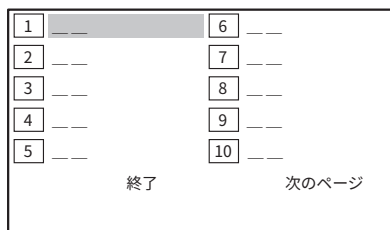
プログラムに設定した順序で再生します。

1 **プログラム**
□を押す



プログラム設定画面が表示されます。

※ タイトルが1つしかない DVD またはオーディオ CD では下図のような設定画面になり、チャプター番号またはトラック番号のみを入力します。



便利な機能

2 再生したいタイトル番号を数字ボタン (**1** ~ **0/10**、**10+**) で入力する

カーソルがチャプター番号入力欄に移動します。

3 再生したいチャプター番号を数字ボタン (**1** ~ **0/10**、**10+**) で入力する

カーソルが次のプログラム番号に移動します。

4 2~3を繰り返し、プログラムを設定する

5 10番目の入力完了したら

▲
◀ ▶ で“次のページ”に
▼
カーソルを合わせ、**決定** または
次へ
▶▶ を押す

※ プログラムできる数は20までです。

● 前のプログラム設定画面に戻るとき
【▲▼◀▶】で“前のページ”にカーソルを合わせ【決定】を押すか【前へ】を押すと戻ります。

● 入力したプログラムを訂正するとき
【▲▼◀▶】で入力したプログラムにカーソルを合わせ、再度プログラム入力し【▲▼◀▶】で他のプログラムにカーソルを移します。

※ 再生開始後のプログラムの訂正はできません。

● プログラム設定画面を閉じるとき
【プログラム】を押すか【▲▼◀▶】で“終了”にカーソルを合わせ【決定】を押します。

6 入力が完了したら ▲ ▼ ◀ ▶ で
“開始”にカーソルを合わせ **決定** を押す

プログラム再生を開始します。

● プログラム再生中、プログラム設定を全て消去するとき

【プログラム】を押し、プログラム設定画面に戻し【▲▼◀▶】で“停止”にカーソルを合わせ【決定】を押します。

※ プログラム再生が終了するとプログラム設定は消去されます。

※ 電源を切る、停止ボタンを2回押す、ディスクを取り出した場合などはプログラムが解除されます。

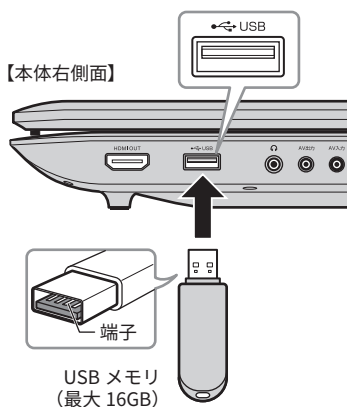
USBメモリやデータディスク内のファイルを再生する

本機は USB メモリ（最大 16GB）やデータディスク内に記録された、MP3/WMA ファイルおよび JPEG 画像を再生することができます。

USB メモリを挿入する

1 本機の電源が「切」の状態、USB メモリを挿入する

本体右側面の USB 端子にそれぞれ図の向きで挿入してください。



2 本機の電源を入れる

3 を押して、DVD モードに切り換える

※ 必ず DVD モードに切り換えてください。
AV IN (外部入力) モードでは、USB メモリを認識できません。

4 を押す

“切換中” の表示が出た後、フォルダー／ファイル選択画面 (➡ 29 ページ) が表示されます。

※切り換えに時間がかかる場合があります。

- ディスク再生に戻るときは【モード】を DVD モードに切り換わるまで押します。
- MP3/WMA・JPEG の再生については、「MP3/WMA・JPEG ファイルを再生する」(➡ 29～30 ページ) をご覧ください。

メモ

- メディアの優先度はディスク > USB メモリの順番です。

USB メモリを取り出す

再生等の操作を終了し、必ず本機の電源を切ってから USB メモリを取り出す

便利な機能

USBメモリやデータディスク内のファイルを再生する(つづき)

①ご注意

- 本機で USB メモリを使うときは、以下の注意事項を必ずお守りください。誤った使いかたによるデータの損失や USB メモリの破損等については一切保証いたしかねます。
 - USB メモリの読込中、再生中または動作終了直後に、USB メモリを引き抜いたり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。
 - 本機で再生できる USB メモリは最大 16GB まで (USB2.0 対応) です。
 - 対応フォーマットは FAT32、NTFS です。
 - 本機で再生できるのは MP3/WMA、JPEG 形式のファイルのみです。本機が対応していない形式で記録されたファイルを再生しようとする、データが破損することがあります。
 - ファイルの記録状態によっては再生できない場合があります。

MP3/WMA (音声) ファイルについて

本機が対応しているビットレートは、MP3 で 48 ~ 320kbps、WMA で 48 ~ 256kbps までです。音質などを維持するため、ビットレート 128 kbps を推奨します。

- ※ MP3/WMA 形式のファイルであっても、作成方法や作成した機器によっては本機で再生できない場合があります。
- ※ ファイルを保存する USB メモリや CD には MP3/WMA ファイルと JPEG ファイル以外のファイルを記録しないでください。本機で認識できない場合があります。
- ※ 「iTunes」でエンコードすると、初期設定では “m4a” という拡張子でエンコードされます。必ず「iTunes」の “環境設定” の “読み込み方法” で “MP3 エンコーダ” に設定してください。
- * 「iTunes」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

JPEG (画像) ファイルについて

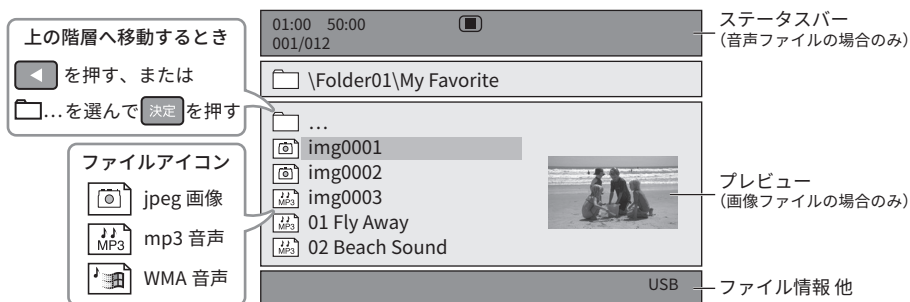
ファイルサイズによっては表示されるまでに時間がかかることがあります。

- ※ JPEG 形式のファイルであっても、記録方法や作成した機器によっては、本機で再生できない場合があります。
- ※ 記録された順序で再生されないことがあります。

USBメモリやデータディスク内のファイルを再生する(つづき)

MP3/WMA・JPEG ファイルを再生する

USBメモリやデータディスクの読み込みが完了すると、画面にフォルダー／ファイル選択画面が表示されます。



ファイル選択画面では、リモコンボタンで以下の操作がおこなえます。

前へ／次へ	再生中	前／次のファイルに移動し、再生をはじめます。
	停止中	ファイル数が多く、画面に表示しきれない場合に、ページ送りをします。
再生／一時停止	選択したファイルを再生します。 JPEGファイルの場合は、選んだ画像からのスライドショーが開始されます。 再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと再生を再開します。	
停止	再生を停止します。	
方向 (▲/▼/◀/▶)	カーソルを移動します。	
決定	選択したフォルダーやファイルを確定します。 ファイルを選んでいる場合は再生が始まります。	
リピート	リピートモードを切り換えます。再生中に切り換えることもできます。	
	フォルダー再生	再生中のフォルダー内のファイルを再生する
	シングル再生	再生中のファイルを再生する(リピートしない)
	フォルダーリピート	再生中のフォルダー内のファイルをリピートする
※ JPEG ファイル再生中は「フォルダー再生」は選択できません。 JPEG ファイル・MP3/WMA ファイルを同時に再生している場合 リピートは JPEG ファイル・MP3/WMA ファイルに対して設定されます。		
プログラム	フォルダー／ファイル表示とファイルのみの表示を切り換えます。	
音量＋／－	音量を調節します。	
消音	音声を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。	
音声	音声モードを切り換えます。	
	ステレオ	通常のステレオ
	モノラル左	左側の音だけが両側のスピーカーから出る
	モノラル右	右側の音だけが両側のスピーカーから出る
ミックスモノラル	左右混合のモノラル	

便利な機能

USBメモリやデータディスク内のファイルを再生する(つづき)

ファイルの再生中は、それぞれ以下の操作がおこなえます。

MP3/WMA(音声)ファイル再生時の操作

再生中は以下の画面が表示されます。



JPEG(画像)ファイル再生時の操作

スライドショー再生が開始されます。

ズーム

表示中に を押すと、画面が拡大・縮小表示できます。

拡大中は で表示範囲を移動できます。

※ズーム表示中は一時停止状態となります。

再生を再開するには または を押してください。

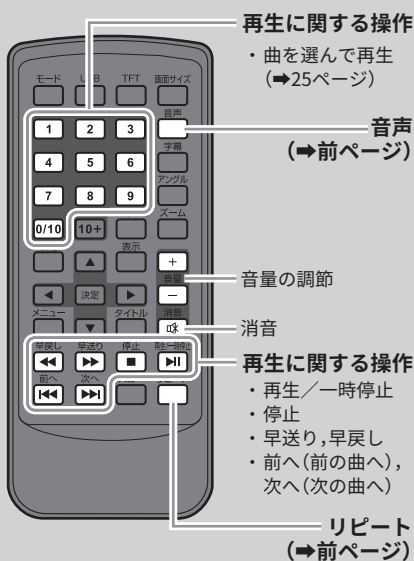
画像の回転

表示中に を押すと、画像を回転

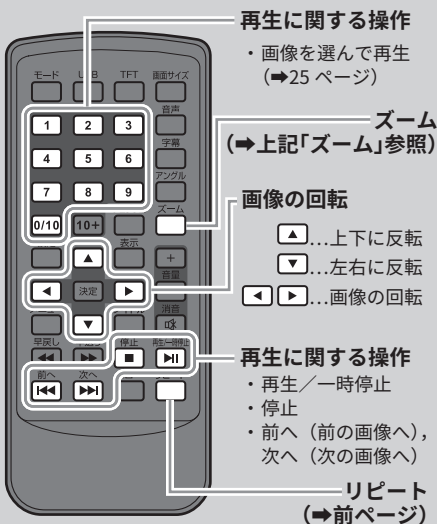
または反転して表示できます。

便利な機能

MP3 ファイル再生中の操作



JPEG ファイル再生中の操作



設定を変える

設定メニューを開く・操作する

設定メニューでは、画質や音声などのさまざまな設定ができます。

メニュー画面の見かた

メニュー画面は以下のようになっています。

画面レイアウトについて

メインメニュー

サブメニュー

現在の設定

設定値

例: 「一般設定」の「テレビ表示」を選択した状態

カーソルの表示色について

選択中のメニュー
黄色

選択中の項目
緑色

現在の設定
茶色

例: 「一般設定」の「テレビ表示」で「4:3/PS」を選択した状態

ボタン操作について

「操作・設定のしかた」(⇒次ページ)も併せてご覧ください。

① ◀ ▶ で選ぶ


② ▲ ▼ で移動し、
決定 で項目選択

③ ▲ ▼ で選び、
決定 で確定

設定を変える

設定メニューを開く・操作する(つづき)

設定メニューを開く

(DVDモードのときに)  を押す

一般設定	音声設定	デジタル	映像設定	選択
一般設定ページ				
テレビ表示	16:9			
アングルマーク	オフ			
画面表示言語	日本語			
スクリーンセーバー	オン			
ラストメモリー	オン			

「一般設定」メニューが表示されます。

設定メニューを終了するには

(設定メニュー表示中に)  を押す

メモ

- 電源を入れた直後や、ディスク・メディアの読み込み中は、ボタンを押しても反応しない場合があります。この場合はしばらく待つてから再度操作をおこなってください。

⚠️ ご注意

- ディスクやメディアの再生中は、「選択」設定を選ぶことができません。「選択」設定は、再生を完全に停止した状態、またはディスクやメディアを挿入していない状態にしてからおこなってください。

設定を変える

操作・設定のしかた

メニューの操作や設定は次のようにおこないます。

「メニュー画面の見かた“ボタン操作について”」(⇒前ページ)も併せてご覧ください。

① メインメニューを選ぶ

「サブメニュー」を選んでいない(緑色のカーソルが何も表示されていない)状態で

  を押す

「メインメニュー」欄のカーソルが移動し、「サブメニュー」欄の表示が切り換わります。







② サブメニューの項目を選ぶ

  を押す

項目を選ぶたび「設定値」欄の表示が切り換わります。



③ 「設定値」を選び、選んだ項目を確定する

-  を押して「設定値」欄にカーソルを移動する
-   で設定値を選ぶ
-  を押して確定する

一般設定




一般設定	音声設定	デジタル	映像設定	選択
一般設定ページ				
テレビ表示	16:9			
アングルマーク	オフ			
画面表示言語	日本語			
スクリーンセーバー	オン			
ラストメモリー	オン			

テレビ表示

接続するテレビ画面の種類を設定します。

メモ

- この設定の内容は、ディスクの記録状態や接続しているテレビによっても異なる場合がありますので、お好みに合わせて設定してください。

4:3/PS	<p>横縦比 4:3 パンスキャン画面に設定する</p> <p>※ワイド画像は映像の左右部分がカットされ見えません。</p> 
4:3/LB	<p>横縦比 4:3 レターボックス画面に設定する</p> <p>※ワイド画像は全て映りますが上下が黒い画面になります。</p> 
16:9	<p>横縦比 16:9 のワイド画面に設定する</p> 

アングルマーク

複数台のカメラで撮影したソフトを再生する場合は、アングルを変えて見ることができます。

オン	機能を有効にする
オフ	機能を無効にする

※ディスクによっては、この機能は使えません。

画面表示言語

設定メニューなどの画面に表示される言語を設定します。

設定値	英語 / 日本語
-----	----------

スクリーンセーバー

モニターの画面焼けを防ぐため、停止状態のまま約4分間経過するとDVDロゴを画面上で動かします。


オン	機能を有効にする
オフ	機能を無効にする

ラストメモリー

停止、または電源を切ったときのディスクの場所を記憶し、次に電源を入れたときに、そこから再生します。

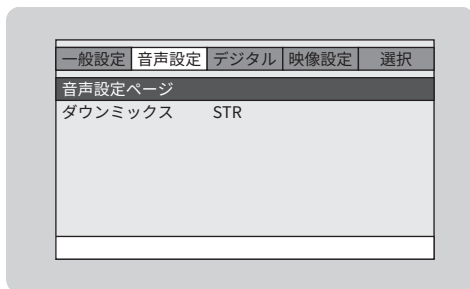
オン	機能を有効にする
オフ	機能を無効にする

メモ

- 停止  を2回押すと、メモリーがクリアされます。
- ディスクによっては数秒のずれが生じる場合があります。

設定を変える

音声設定

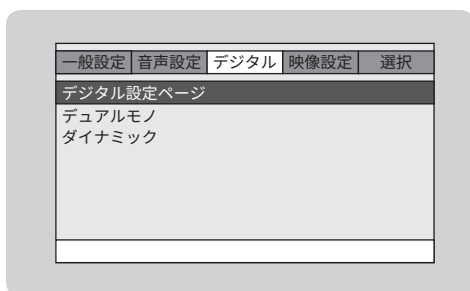


ダウンミックス

5.1 チャンネル等のマルチチャンネルで記録されたディスクの音声信号を、フロント2チャンネルに変換して再生します。

LT/RT	ダウンミックスモード
ステレオ	通常のステレオ

デジタル設定



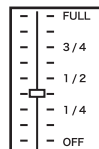
ダイナミック

ドルビーデジタルのディスクを再生するとき、音量の幅を設定し迫力を調節します。

設定値	OFF ~ FULL
-----	------------

設定のしかた

1 **決定** を押す



カーソルが茶色→黄色に変わります。

2 **▲** **▼** で調節し **決定** を押す

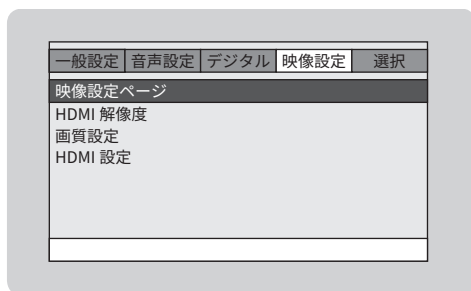
デュアルモノ

音声多重の DVD を再生した際の音声再生方法を選択します。

ステレオ	通常のステレオ
モノラル左	左側の音だけが両側のスピーカーから出る
モノラル右	右側の音だけが両側のスピーカーから出る
ミックスモノラル	左右混合のモノラル

設定を変える

映像設定



HDMI 解像度

テレビへの HDMI 映像信号の出力解像度を設定します。

※本製品を HDMI ケーブルで接続したときに設定します。

自動	接続したテレビに最適な解像度に自動設定されます。 ※解像度が切り換わる際、画面が乱れることがあります。
480p	出力解像度 480 プログレッシブ
720p	出力解像度 720 プログレッシブ
1080p	出力解像度 1080 プログレッシブ

画質設定

以下の各項目について設定できます。

シャープネス

画面の鮮明度を設定します。

設定値	高/中/低
-----	-------

※HDMI ケーブルで接続している場合、設定を変更しても画面の鮮明度は変わりません。

明るさ

画面の明るさを設定します。

※設定のしかたは右記「設定のしかた」をご覧ください。

設定値	- 20 ~ + 20
-----	-------------

コントラスト

画面のコントラストを設定します。

設定値	- 16 ~ + 16
-----	-------------

彩度

画面の彩度を設定します。

設定値	- 9 ~ + 9
-----	-----------

色相

画面の色相を設定します。

設定値	- 9 ~ + 9
-----	-----------

設定のしかた

明るさ・コントラスト・彩度・色相の設定は以下の方法でおこないます。

1 **決定** を押す



設定画面が表示されます (画面は「明るさ」の場合)。

2 **◀ ▶** で調節し **決定** を押す

設定が反映され、ひとつ前の画面に戻ります。

設定を変える

映像設定 (つづき)

HDMI 設定

以下の各項目について設定できます。

※本製品を HDMI ケーブルで接続したときに設定します。

HDMI

接続した HDMI テレビとの連動を設定します。

オン	HDMI ケーブルで接続しているとき (HDMI 機能：オン)
オフ	HDMI ケーブルで接続していないとき (HDMI 機能：オフ)

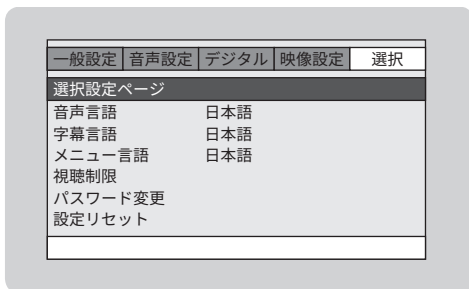
オーディオソース

HDMI 出力をおこなう際のオーディオ設定をおこないます。

自動	接続している HDMI 対応機器がドルビーデジタル、または MPEG 等の音声に対応していないとき (自動でリニア PCM 音声に変換して出力する)
PCM	ドルビーのデジタル音声信号のデコード機能を持たない HDMI 対応機器に接続するとき

設定を変える

選択設定



①ご注意

- ディスクやメディアの再生中は、「選択」設定を選ぶことができません。
「選択」設定は、再生を完全に停止した状態、またはディスクやメディアを挿入していない状態にしてからおこなってください。

音声言語

DVD再生時に選択できる音声を設定します。
 ※ディスクにより切り換わらない場合があります。
 ※ディスクのメニューで設定をおこなってください。
 (ディスクメニューで設定した言語が優先されます。)

設定値 英語／日本語

字幕言語

DVD再生時に選択できる字幕言語を設定します。
 ※ディスクにより切り換わらない場合があります。
 ※ディスクのメニューで設定をおこなってください。
 (ディスクメニューで設定した言語が優先されます。)

設定値 英語／日本語

メニュー言語

DVD再生時に表示されるメニューの表示言語を設定します。

- ※ディスクにより切り換わらない場合があります。
- ※ディスクのメニューで設定をおこなってください。
 (ディスクメニューで設定した言語が優先されます。)

設定値 英語／日本語

視聴制限

子供に見せたくないソフトなどを制限する機能です。

- ※この機能を備えたDVDディスクのみ設定が有効となります。

1 KID SAFE	子供に安心して見せられる
2 G	保護者の指導なしで見せられる、一般向け映画
3 PG	父兄・保護者同伴
4 PG13	13歳以下は親同伴
5 PGR	15歳以下は親同伴
6 R	17歳以下は親同伴
7 NC17	17歳未満は視聴禁止
8 ADULT	成人向けの内容

設定を変える

選択設定 (つづき)

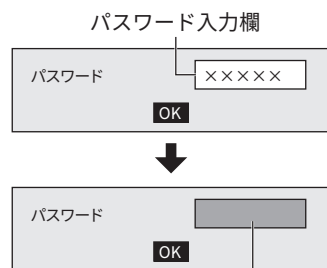
「視聴制限」の設定のしかた

- 1 ▲ ▼ で設定値を選び **決定** を押す

パスワード入力画面が表示されます。

- 2 数字ボタン (**1** ~ **0/10**) でパスワードを入力する

※ 初期設定のパスワードは「888888」です。



パスワードの最後の1字を入力すると、入力欄が黒色になります。

- 3 **決定** を押して設定ページに戻る

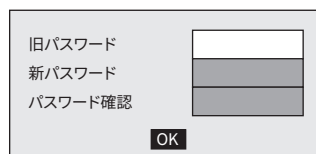
設定を変える

パスワード変更

「視聴制限」の設定時に必要なパスワードを設定、変更できます。

設定のしかた

- 1 「パスワード変更」を選んで **決定** を押す



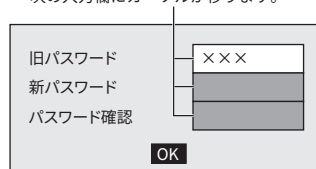
パスワード入力画面が表示されます。

- 2 数字ボタン (**1** ~ **0/10**) で旧パスワード、新パスワードをそれぞれ入力する

※ 初期設定のパスワードは「888888」です。

再確認のため、新パスワードを「パスワード確認」欄に再入力します。

パスワード入力欄
パスワードの最後の1字を入力すると、次の入力欄にカーソルが移ります。



- 3 **決定** を押して設定ページに戻る

設定リセット

工場出荷時の設定に戻ります。

その他

困ったときは

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下表で確認してください。それでも症状が改善されない場合はお買上げの販売店、または弊社お客様サポートセンター（➡裏表紙）までご相談ください。

電源関連

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない、入ってもすぐ切れる	<ul style="list-style-type: none">ACアダプターが抜けている。ACアダプターが抜けかかっている。	<ul style="list-style-type: none">ACアダプターをコンセントにしっかりと差し込んでください。

リモコン関連

症状	考えられる原因	対処方法
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none">電池の極性(+/-)が間違っている。	<ul style="list-style-type: none">電池の極性(+/-)を確認し、正しく入れてください。
	<ul style="list-style-type: none">電池が消耗している。	<ul style="list-style-type: none">新しい電池と交換してください。
	<ul style="list-style-type: none">リモコンを本体のリモコン受光部に向けていない。	<ul style="list-style-type: none">本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
	<ul style="list-style-type: none">リモコンの受光範囲を超えている。	<ul style="list-style-type: none">受光範囲内で操作をしてください。

操作・再生関連

症状	考えられる原因	対処方法
再生できない	<ul style="list-style-type: none">ディスクが入っていない。ディスクカバーが閉まっていない。	<ul style="list-style-type: none">オープンボタンを押して確認してください。
	<ul style="list-style-type: none">ディスクが裏返しに入っている。	<ul style="list-style-type: none">レーベル面を上にして入れてください。
	<ul style="list-style-type: none">ディスクが傷ついているか、汚れている。	<ul style="list-style-type: none">ディスクを交換するか、汚れを取り除いてください。
	<ul style="list-style-type: none">ディスクの機械部が結露状態になっていませんか。	<ul style="list-style-type: none">ディスクを取り出し、1時間ほどそのままにしてください。

困ったときは (つづき)

症状	考えられる原因	対処方法
再生できない (前ページより続き)	<ul style="list-style-type: none"> リージョンコードが合っていない。 ファイナライズ処理されていない DVD-R ディスクではありませんか。 一時停止状態になっていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本機では“2”または“ALL”以外には対応していません。 本機ではファイナライズ処理されていない DVD-R ディスクは再生できません。 再生 / 一時停止ボタンを押してください。
画像ファイル・音声ファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生できるファイル形式で記録されていますか。 容量 (16GB) を超えていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ファイル形式を確認してください。本機で再生できるファイル形式は MP3/WMA、JPEG ファイルだけです。 ※ MP3/WMA、JPEG ファイルであっても作成方法や作成した機器によっては本機で再生できない場合があります。 本機で使用できる外部メモリの容量は 16GB 以下の USB メモリです。
ディスクが入っているのに“ディスクがありません”と表示が出る	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが裏返しに入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> レーベル面を上にして入れてください。
画像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 本機で再生できないディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本機で再生できるディスクを入れてください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 消音、または音量が「0」になっていませんか。 接続ケーブルが抜けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を確認してください。 正しく接続されているか確認してください。
音がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> 設定が間違っていないですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 設定を確認してください。
画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> 接続ケーブルが抜けている。 早送り、もしくは早戻し再生を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく接続されているか確認してください。 早送り / 早戻し再生のときは画像が多少乱れます。
一時停止、リピート再生が実行できない	<ul style="list-style-type: none"> これらの機能が使用できないディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> これらの機能が使えないディスクがあります。
音声言語や字幕言語を変更できない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに複数の言語が記録されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクにより 1 つの言語だけのものがあります。

免責事項

- ※地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤操作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

DVD/CD について

- ※DVD、CD の使用から生じる傷や汚れに関して、当社は一切責任を負いません。

データについて

- ※MP3/WMA ファイルや JPEG ファイルで大切なデータはパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。本機で使用するによって、万一何らかの不具合が生じた場合、データの損失や記録できなかったデータの補償、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※誤った使いかたをするとデータが破損・削除されることがあります。記録されたデータの破損・削除については、故障や損害の内容・原因に関わらず、当社は一切責任を負いません。

おもな仕様

品名	9型ポータブル DVD プレーヤー		
品番	PDVD-9KSA		
電源	専用 AC アダプター	入力	AC100-240V 50/60Hz
		出力	DC12V 1.5A
	専用カーアダプター	入力	DC12V
		出力	DC12V1.5A
	内蔵充電地 (バッテリー)	DC7.4V/1800mAh	
		充電時間	約 5 時間 (電源切状態)
再生時間		DVD 連続再生約 3 時間	
消費電力	14W (AC アダプター使用時)		
出力端子	HDMI 出力端子 (ver.1.3)、AV 端子、イヤホン端子		
入力端子	AV 端子、USB 端子		
再生可能ディスク	DVD、DVD-R、DVD-RW、CD、CD-R、CD-RW		
対応フォーマット	DVD-Video、DVD-VR (CPRM)、CD-DA、MP3、WMA、JPEG		
メディア最大容量	USB2.0 対応 USB メモリ：最大 16GB		
液晶画面	9 型		
液晶画面画素数	横 800 ピクセル×縦 480 ピクセル		
許容温度範囲	5 ~ 35°C		
信号方式	NTSC		
リモコン到達距離	3m 以内 (本体リモコン受光部正面から)		
付属品	リモコン、AC アダプター、カーアダプター、HDMI ケーブル、AV ケーブル、 車載用カバー、取扱説明書、保証書		
外形寸法	約 257 (W) × 187 (D) × 44 (H) mm		
本体質量	約 900g		
製造国	中国		

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

メモ

アフターサービス

- 万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください。(有料)
- 本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。
- 本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても保証は致しかねます。

保証書

本製品には保証書が付いています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

修理を依頼するとき

保証期間中は

商品に保証書を添えてお買上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容により無料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

弊社またはお買上げの販売店にご相談ください。

補修用性能部品の保有期間

この9型ポータブルDVDプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合

アフターサービスについてご不明の場合には、弊社またはお買上げの販売店にお問い合わせください。

高温に対するご注意

特に夏場での窓を閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、暖房器具の近くには放置しないでください。高温により変色や故障の原因になります。

- お問い合わせの際は「製品名」・「品番」・「症状」をご確認の上、お伝えください。

製品に関するお問い合わせは

株式会社アズマ
お客様サポートセンター フリーダイヤル **0120-00-8984**

受付時間 午前10時～午後5時(土・日・祝祭日および弊社指定休業日を除く)

- ・ 本書に記載された内容の一部または全部を弊社に無断で転載・改変・複写・複製することを禁じます。
- ・ 改良のため、製品の仕様や外観、および本書の内容を予告なく変更することがあります。